



2019年2月発行

【発行】 学び舎江戸東京ユネスコクラブ

事務所：〒187-0032 小平市小川町 1-904-56

<http://www.unesco.or.jp/manabiya/>

E-mail: manabiya@unesco.or.jp

「学び舎ユネスコ2019ギャラリー展」と 「第14回教養・文化講座」を同時開催

体験教室の様子



太極拳教室



水墨画教室



鳴り物・三味線教室



書道教室



中国体操教室

2月20日(水)～24日(日)、小平市中央公民館において「学び舎ユネスコ2019ギャラリー展」を開催しました。このギャラリー展は日頃の私たち学び舎ユネスコの活動をつぶさにご紹介し、一人でも多くの会員、市民の皆さまに知っていただくもので、平成27(2015)年1月に開催して以来の2度目のギャラリー展となりました。

今回は日頃の活動内容の展示のみならず、展示会場の一隅を活用して、初心者の皆さまにも自由に体験出来る、太極拳、中国体操、水墨画、鳴り物・三味線、書道の体験教室を日替わりで開催しました。

(写真参照・延べ参加人数：58名)

また展示会場では、地元の創価高校3年生による「玉川上水を流れる高度処理水は冬の虫に影響を与える?」の研究発表が展示されました。

この研究は、過去13年間の先輩たちから引き継いで来たもので人間が関わる活動が自然豊かな玉川上水の環境に与える影響と変化を探求するものです。



来場者の様子



展示作品前の創価高校3年生



分水路網の研究発表ブース

(裏面に続く)



さらに今回は、これまで継続的に進めてきているユネスコの世界寺子屋運動 30 周年記念展示や、ユネスコ世界遺産パネルの展示を行いました。会場内に設置したポストには、「少しですが・・・」と書き損じハガキを持参される方がおられました。世界寺子屋運動の必要さが周知されてきた感があります。

また、昨年一年間がかりで小平分水路網約 50km をくまなく歩き、9 本の分水路の現状を調査した成果の一端を、写真や地図を交えて掲示紹介、報告しました。5 日間のギャラリー展は、連日の好天にも恵まれたこともあり、延べ 700 人を超えるご来場をいただき盛況を得ました。



フラワーアレンジメント・書道・水墨画教室の作品展示

「わがまち再発見 — わがまちの宝もの!! 小平分水路の今を知る —」

ギャラリー展最終日の 24 日(日)午後 2 時から、同中央公民館の視聴覚室において、第 14 回「学び舎ユネスコ教養・文化講座」を開催しました。



講師の矢崎氏



会場の様子



リハーサル中の高校生たち

冒頭、創価高校の皆さんによる前述の研究成果の口頭報告の後、「玉川上水再々発見の会」矢崎功氏を講師にお招きしてお話いただきました。小平の分水路の成立ちや歴史に始まり、具体的でわかりやすい語り口でのお話にご来場の皆さまは、熱心にミミを傾けていました。途中休憩後には、多くの質問が寄せられ、皆さまの小平分水路網への関心の高さを再確認することが出来ました。

ここに会員の皆さま、ご来場の皆さまには改めて御礼を申し上げるとともに、今後とも引き続き学び舎ユネスコ活動へのご支援を賜りますことをお願い申し上げます。ありがとうございました。

以上(文責：事務局)